

(行政視察・政務活動) **議員研修** 報告書

平成27年11月11日

白石市議会議長 佐久間 儀 郎 殿

議員氏名 佐藤 秀行

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成27年10月28日(水) ~ 10月30日(金)
調査・研修先	市町村職員中央研修所
調査事項 (研修事項)	市町村議会議員特別講座Ⅱ(政策立案コース) 「人口減少社会への対応と地方創生」
対応者・講師等	斉藤俊幸(ふるさと財団)・田口一博(新潟県立大学准教授)
概要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	<p>去る10月28日(水)から30日(金)まで、3日間コース(2泊3日)の研修を、千葉県美浜区にある市町村職員中央研修所で受講してきました。グループ編成などの参考とするための事前アンケートを、事前に作成し提出しました。併せて目標設定シートについても、事前に作成し、こちらは当日研修所に持参しました。今回の演習テーマは「人口減少社会への対応と地方創生」で、その中でも「地域の若年世代対応ー就労・結婚・子育て支援等ー」という分野に取り組みました。この研修を通して何を学びたいのかという、明確な目的意識を持って参加し、事前に個人学習を行い、自分の問題意識や考え方を説明できるように準備しました。</p> <p>市町村議会議員特別講座Ⅱ(政策立案コース)の日程は、初日、開講式の後続き、オリエンテーションが行われました。最初に、「地域資源の再発見と地域づくり」という演題のもと、地域再生マネージャー(ふるさと財団)の斉藤俊幸氏による講義がありました。その後、政策立案演習(討議)では、小グループに分かれ、グループ毎のテーマに基づき、具体的にどのような施策に取り組むかを討議しました。</p> <p>2日目、「議会における政策立案の考え方」という演題で、新潟県立大学国際地域学部准教授田口一博講師による講義がありました。その後、政策立案演習(討議・指導)では、初日にグループで話し合った内容に基づき、現状・問題点・対応策といった流れで討議を</p>



行い、具体的な施策を提言しました。

最終日は、政策立案演習（発表・講評）ということで、提言する政策について、班別テーマのもと、12グループによる発表が順次行われました。その後、全員で質疑・意見交換を行い、これらを受けて、講師の先生に講評をいただくという日程で研修が行われました。

斉藤俊幸氏、田口一博准教授の講義の中で、印象に残ったこと・考えさせられたことがいくつかありました。

ひとつは、「地域再生の成功のポイントの一つは、創発（セレンディピティ）である」という言葉です。創発とは、ふとした偶然をきっかけにひらめきを得、幸運をつかみ取る能力です。つまり、偶然とそれを見逃さない洞察力が大切だということです。

もうひとつは、地域再生事業の成功事例に学ぶことが大切だということです。さらに、「わがまちの特性を生かしたまちづくり」も大切であるということを改めて考えさせられた講義でした。そして何より、これまでにない危機感を持って人口減少克服と地方創生に取り組む必要があると考えました。「まち」に活力を取り戻し、人々が安心して生活を営み、子どもを生き育てられる社会環境を作り出すということ。

グループ毎の政策立案演習（討議）においては、全体テーマ：「人口減少社会の対応と地方創生」のもと、「地域での若年世代対応－就労・結婚・子育て支援等－」の分野に取り組みました。2日間にわたり、情報交換や意見交換を行い、問題解決のための手がかりをつかむとともに、研修生相互の交流を深めました。

これらのことを通して、多様化する市民のニーズに的確に対応し、地域の諸問題を解決するため、地方議員自ら政策を企画立案することができる政策形成能力を養成するというのが、本演習のねらいでした。

グループ演習は、5人で行われ、それぞれの市町村が抱えている現状・課題・問題点と言った流れで討議を行い、提案する政策名、政策の目的と目標、実施方法、効果、必要な資源という形で、最終的に具体的な政策をグループで提言しました。

私たちのグループでは、鹿児島県北部の阿久根市を取り上げました。人口21,975人、世帯数10,428、30代から50代の独身男性が多いという現状をふまえ、このままでは人口減少の要因となり単身高齢者増が予想されることから、「花婿学校・花嫁学校の実施と出会いの場」提供、という政策を提案してみました。

結婚をしたい人が結婚できるようにすること、独身男性や女性の結婚への意識を変えることを目的に、現状（年間400組）の1.5倍の成婚率を目標とするものです。実施方法として、多様な結婚観を知り、自分の魅力を再発見し、自己表現力を高めるために、市と商工会が連携して講座を開催するというものです。男女、特に男性の意識改革とコミュニケーションを図るための語学講座を開催し、また日本一の夕陽と言われる阿久根市の海岸線を生かした体験型の出会いの場を提供します。市内の事業者の協力も得ながら、市全体で取り組み、人口減少と地方創生に役立てるものです。

政策の効果として、結婚する人が増えることによって、特に男性未婚者の減少につながります。出生率も増加、孤独死の減少、商店街の活性化などの副次的効果を見込めると思います。

このように、阿久根市「若年世代および結婚を望む全ての人への支援」というサブテーマのもと政策を立案しました。

自分の住む地域を知ろうとすることが、地域活性化への大きな第一歩と言われます。少子高齢化、人口減少、出生率減少等が進む中、「自分の住んでいるまちは、今後どうありたいか？」「それを実現するためには、どうしたらいいのか？」、そこに住んでいるひとりひとりが色々な意見を出し合い、地域の良さ・魅力を再発見し、みんなで協力し、考えていくことが大事だと思います。

自分自身、日々全てのことが勉強、研修の場だと思います。今回のような研修を通して、議員としての自覚とその職務の重要性を改めて深く認識しました。学んだことを今後の業務に生かしていこうと考えています。

第2806号

# 修了証書

宮城県白石市議会

佐藤 秀行

あなたは、政策課題研修課程「市町村議会議員特別講座Ⅱ（政策立案コース）」（第29期第1組）において所定の課程を履修しこれを修了したことを証します。

平成27年10月30日

市町村職員中央研修所

学 長

林 有 音

